

● 現在の経営状況\*2

		前回からの変化
住宅・宅地分譲業	24.2 p	7.5 p ↗
不動産流通業(住宅地)	5.2 p	8.6 p ↗
ビル賃貸業	27.3 p	1.2 p ↗

● 3ヶ月後経営状況見通し\*3

		前回からの変化
住宅・宅地分譲業	△ 1.5 p	△ 7.6 p ↘
不動産流通業(住宅地)	△ 6.0 p	5.7 p ↗
ビル賃貸業	△ 2.3 p	△ 8.8 p ↘

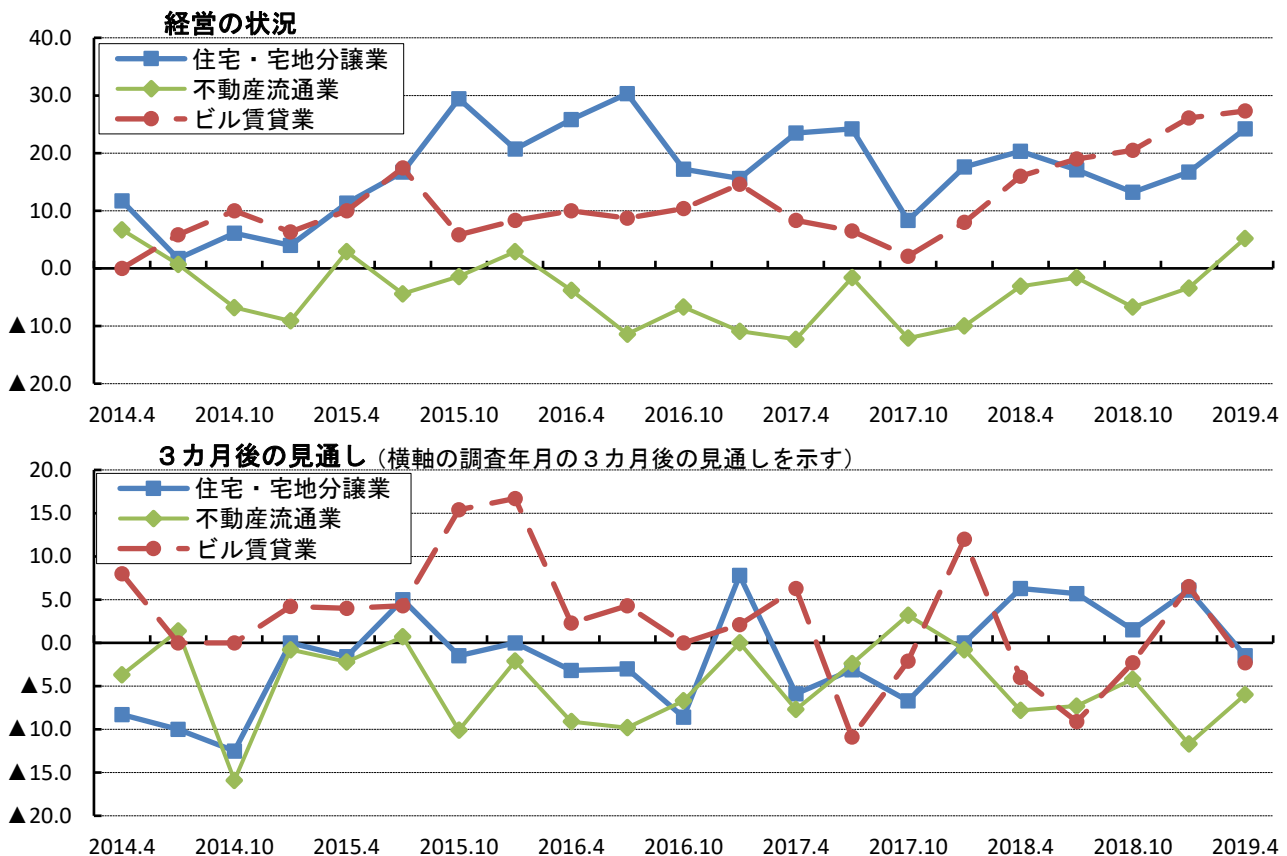
住宅・宅地分譲業の経営状況は前回から 7.5p 改善し 24.2p。25期連続のプラス水準。  
 不動産流通業は前回から 8.6p 改善し 5.2p。13期ぶりのプラス水準。  
 ビル賃貸業は前回から 1.2p 改善し 27.3p。20期連続でのプラス水準。

3ヶ月後の見通しは、住宅・宅地分譲業、不動産流通業、ビル賃貸業のいずれにおいても悪化。

\*1 不動産業を営む企業を対象としたアンケート調査をもとに、不動産業業況指数を算定（-100～+100、0が判断の分かれ目）。調査時期は毎年1、4、7、10月。

\*2 経営の状況 =  $\{(\text{「良い」} \times 2 + \text{「やや良い」}) - (\text{「悪い」} \times 2 + \text{「やや悪い」})\} \div 2 \div \text{回答数} \times 100$

\*3 3ヶ月後の見通し =  $\{(\text{「良くなる」} \times 2 + \text{「やや良くなる」}) - (\text{「悪くなる」} \times 2 + \text{「やや悪くなる」})\} \div 2 \div \text{回答数} \times 100$   
 （調査年月の3カ月後の見通しを示す。）



[不動産業業況等調査結果\(pdf\)ダウンロード](#)

資料：一般財団法人 土地総合研究所「不動産業業況等調査」